

5. いにしえにつづにみち続く道



DATA

撮影者 津崎 佳治
撮影地 大分市大字今市

【撮影者コメント】

遠い昔から人々は、それぞれの土地で脈々と歴史を築き上げてきました。その足跡は、史跡・文化財・文献などに今も残っており、それらに触れることによって、当時の人々の姿が偲べれます。

野津原地区今市の石畳は、久住町方向に通じる県道412号線から少し入った場所にあります。肥後藩主が参勤交代の道路として整備した肥後街道今市宿の一部です。道幅約8メートルの中央部に幅約2メートルの平石が敷き詰められ、長さ約660メートルが保存されています。かつてはその両側に宿場があって、本陣、脇本陣、茶屋、代官所、酒屋などが軒を並べていました。今は石畳を囲むように民家が整然と建ち並んでいます。立て看板などで当時の面影を偲ぶこともできます。

坂本竜馬も勝海舟とともに佐賀関に上陸、肥後街道を通して長崎に向かったことが「海舟日記」に記されています。二人はどんな気持ちでこの石畳を踏んでいったのだろうか。

MAP

